

2025年 11月 4日

綜研化学株式会社

浜岡事業所へカーボンオフセットLPガスを導入

－国内全事業所の燃焼によるCO₂排出量約50%を相殺－

綜研化学株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役 社長執行役員:富田 幸二)は、2025年11月1日より、浜岡事業所(静岡県御前崎市)で使用する燃料の一部に、カーボンオフセットLPガスを導入しました。本取り組みは、Gas Oneグループの株式会社サイサン(本社:さいたま市大宮区、代表取締役社長:川本 知彦)を通じて実施しています。今後とも、当社は、持続可能な社会の実現に向けて、サステナビリティ経営の推進に取り組んでまいります。

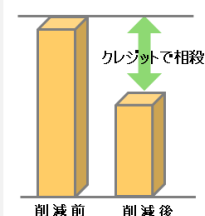
● 導入の背景

当社は、省エネ活動により使用するエネルギー量の削減に継続的に取り組むとともに、再生可能エネルギーの積極的な導入等により、CO₂排出量の削減に努めています。

これらの取り組みによってもCO₂排出が避けられないものについては、適切なオフセット(相殺)を行う必要があると認識しています。今回導入したカーボンオフセットLPガスは、官公庁で運営する「J-クレジット制度」を採用しており、オフセットされたエネルギーに対するCO₂排出量を実質ゼロとする取り組みです。

カーボンオフセットとは？

削減努力の結果、どうしても削減することのできないCO₂を他の場所の排出削減・吸収量で相殺(オフセット)すること



● 導入の効果

今回導入したカーボンオフセットLPガスは、燃料の使用に伴って発生するCO₂排出量の約990トンオフセットする見込みです。これは、当社の国内全事業所における燃料の使用に伴って発生するCO₂排出量の約50%に相当し、環境負荷の低減に貢献するものです。

※LPガス1トンあたりのCO₂排出量を約3トンとし、2024年度実績値より算出

● カーボンオフセットLPガスとは

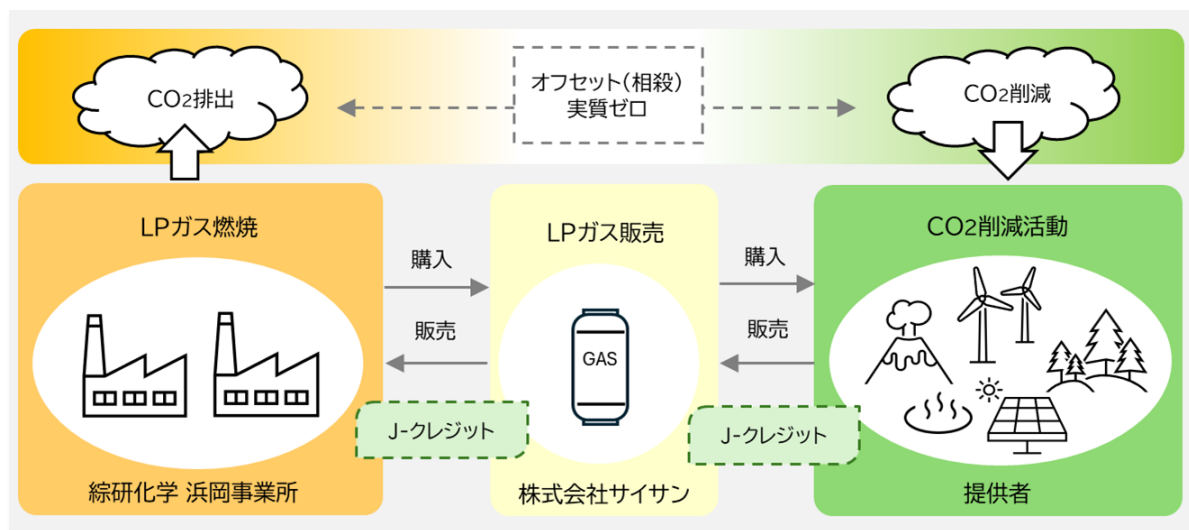
カーボンオフセットLPガスとは、燃焼により排出されるCO₂量を、再生可能エネルギーの導入や森林保全などによって削減・吸収されたCO₂量で相殺(オフセット)する仕組みを持つLPガスを指します。通常のLPガスと同様に使用できる一方で、ガス使用量から算出したCO₂排出に相当するカーボンクレジットを取得・活用し、実質的なCO₂排出量をゼロに近づけることができます。

2025年 11月 4日

綜研化学株式会社

● カーボンオフセットLPガス 供給スキーム

当社では、株式会社サイサンを通じて、環境省・経済産業省・農林水産省が共同で運営する「J-クレジット制度」を活用し、信頼性の高いカーボンクレジットを用いてオフセットを実施しています。J-クレジット制度は、国内で創出されたCO₂削減・吸収量を「クレジット(価値)」として認証・取引できる制度であり、企業の温室効果ガス排出削減への取り組みを可視化・数値化する手段として広く利用されています。



本件に関するお問い合わせ先

綜研化学株式会社 〒171-8531 東京都豊島区高田3-29-5

サステナビリティについて

サステナビリティ推進室

TEL : 04-2954-3261

報道関係者のお問い合わせ

IR・広報室

TEL : 03-3983-3268

E-Mail : investor.b5p.relations@sokenchem.com